

■ 2009年度 入試問題分析シート ■

千葉大学 文・法経学部

前期日程

科目	国語(漢文)
----	--------

試験時間	90分	満点(配点)	文 200点、法経(法 200点、 経済・総合政策 150点)	出題数	現代文 1題、古文 1題、漢文 1題
------	-----	--------	------------------------------------	-----	--------------------

総括

難易度(昨年比)	難化	昨年並	易化
分量(昨年比)	増加	昨年並	減少

〈総論〉

例年並みの長さで、読み易い漢文である。設問も難問は含まれていない。

〈合格への学習対策〉

平素からしっかりと漢文の学習をしていけば合格点がとれる問題である。訓読・現代語訳・解釈いずれにおいても、句形の知識が不可欠である。

問題分析(本文)

問題番号	類別(ジャンル)	出典(著者)	コメント(特徴・出題頻度など)	本文のレベル
第三問	随筆	『広陽雜記』(清・劉獻廷)	筋のはっきりした逸話であり、読み取りは困難ではない。	標準

設問分析

問題番号	設問番号	設問形式	設問内容(特徴・解答上のポイントなど)	設問のレベル
第三問	一	記述	現代語訳「為」と「句」の訳がポイントになる。	標準
	二	記述	全文ひらがな(現代かな遣い)の書き下し(返り点あり)。「非」と「能」の読み方がポイント。	標準
	三	記述	全文の主旨にかかわる説明。手紙の内容を中心にまとめる。	標準

「本文のレベル」と「設問のレベル」は、本大学・学部を志望している受験生の入試レベルを基準に、難易度を5段階(難・やや難・標準・やや易・易)で判断しています。昨年対比ではありませんので、総括の難易度(昨年比)とは連動しません。